

中高一貫教育 川根の郷の「夢」を語る会

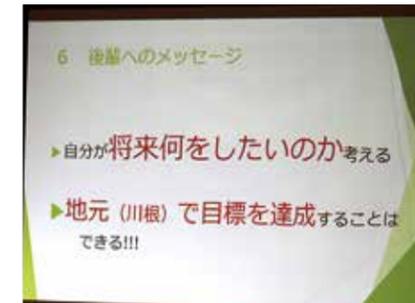
2月7日(金)、川根高校を会場に川根の郷の「夢」を語る会が開催されました。
この会は中高生が交流を深め、川根地域に住む仲間として川根の現状や未来について語り合うことを目的に実施されているものです。
当日は、川根高校の1・3年生と本川根中学校・中川根中学校・川根中学校の2年生、約140人が集まりました。



中学生たちは、まず実際に高校生がどのような勉強をしているのかを知るため、1年生の英語や情報の授業のほか、2年生が受ける就職ガイダンスを見学しました。

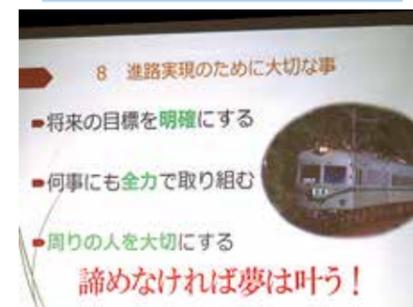


大井川鐵道に就職予定の太田雄人さん(中中出身)

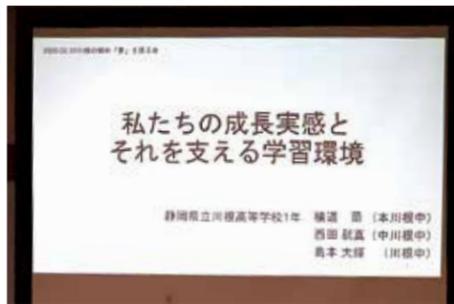
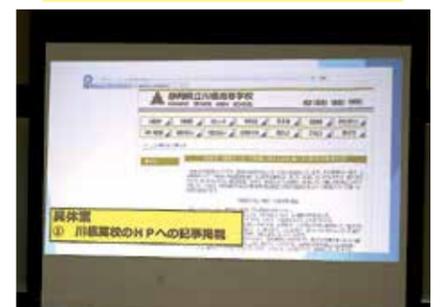


地生学の研究発表をした竹越康晴さん(中中出身)と栗原佑太さん(中中出身)

セミナーハウスで行われた全体会では、高校生の講演として「就職」「進学」とそれぞれの進路を選んだ3年生が、進路を決めたきっかけ、自身が決めた進路に向けて取り組んできたことを話しました。
また、川根高校独自の科目である「地生学」の研究発表として、本年度のテーマである「地域に伝わる昔話」の研究結果についての説明が行われました。



静岡県立大に進学予定の中村斗麻さん(中中出身)



3年生の発表に続いて行われた、1年生の「夢ぶる」についての報告では、「私たちの成長実感とそれを支える学習環境」というテーマによる研究学習についての成果報告が発表されました。

川根地域からの入学者(地元生)と、遠方からの入学者(留学生)、それぞれがどのような考えを持って入学し、高校生活の中でどのように変化していくのかをアンケート調査により考察するほか、地域の大人たちが川根高校生に持つ印象などについての聞き取りを行ったことから、「学校内外の人との関わり」が学習成果を大きく左右することについて解説しました。



夢ぶるの研究結果を発表した横道蘭さん(本中出身)西田就真さん(中中出身)島本大輝さん(川中出身)



「川根地区(川根本町・島田市川根)をPRするキャッチフレーズをつくらう」というテーマのもと中高生がグループにわかれてワークショップを実施しました。
最後には、短い時間のなか意見を出し合い創り上げたオリジナルのキャッチフレーズが発表されました。



今回参加した感想を聞いてみました

高校生の発表を聞くなかで、学校や地域のことで自分が知らなかったことなどを確認することができました。とてもためになったと思います。



中川根中学校2年生 榎本伽音さん(写真左) 中川根中学校2年生 坂元聖莉菜さん(写真右)